

新産業創出・マテリアル・バイオ革新に向けた新技術先導研究プログラム

令和4年度概算要求額 25.2億円（13.4億円）

(1)～(4)
産業技術環境局
産業技術プロジェクト推進室
(2)の一部
商務サービス・グループ生物化学産業課

事業の内容

事業目的・概要

- 社会課題が加速度的に複雑化・多様化する中において、新産業創出のためには、既存技術の延長だけでなく、従来の発想によらない、革新的かつインパクトのある技術の原石の発掘・育成が重要です。

- 特にマテリアル分野は、我が国が掲げているデジタル社会やグリーン社会の実現に向けては、革新的なイノベーションをもたらすマテリアルの社会実装が必要不可欠であり、新たにマテリアル政府戦略を策定するなど、今後日本として力を入れていくべき分野です。

また、バイオ分野は、市場の急成長が見込まれており、新たに策定されたバイオ戦略フォローアップにおいても、バイオテクノロジーの活用によるイノベーションが期待される分野の研究開発を着実に推進することとしています。

- 本事業では、ハイリスク・ハイインパクトな技術シーズを選びすぎり、将来の国家プロジェクト等につなげる先導研究や政策の方向性を検討する技術戦略策定を実施します。

成果目標

- 平成30年度から令和9年度までの10年間の事業であり、令和11年度時点で本研究成果を活用した計31件の本格研究開発（国家プロジェクト）の創出を目指します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ



(1) 新産業創出に向けた先導研究

新産業創出や社会課題解決につながる革新的かつ社会へのインパクトが大きい技術の原石を選別し、研究開発を実施。

(2) マテリアル・バイオ革新に向けた先導研究

マテリアル・バイオ分野における革新的シーズや政策ニーズの発掘・育成を行い、政策的重要性が極めて高い技術や分野特有の課題解決に資する技術に関して研究開発を実施。

	対象分野	研究開発期間	予算上限(年)
新産業創出先導研究	全分野	原則1年間(最長2年間)	1億円/件
マテリアル・バイオ革新先導研究	マテリアル・バイオ分野に特化	原則1年間(最長3年間)	1億円/件

(3) 技術戦略の策定

国として実施すべき技術分野を優先順位付けし、各技術について技術戦略を策定。

(4) ムーンショット型研究開発

挑戦的な研究開発を実施するムーンショット型研究開発制度の推進。